

■プログラム名

アジアの新出課題解決に向けたエビデンスベースドアプローチ大学コンソーシアム

■現状及び展望

本事業では、慶應義塾大学と ASEAN 5 ヶ国 6 大学で「EBA コンソーシアム」を形成し、共同カリキュラム、遠隔授業共有、フィールドワーク、インターンシップなど、相互に学生が行き来しながら、問題解決の力をつけていくサーティフィケートプログラムを開発している。本年はそのパイロットプログラムとして、本学から ASEAN パートナー大学への授業配信、コンソーシアム内の教員・学生がディスカッションを行う場としての月例オープンセミナー実施、本学の学生と ASEAN パートナーの学生とが日本と ASEAN を行き来するフィールドワークに加え、両者が一緒に参加して学習を深めるフィールドワーク実施などの活動を行っている。また、各 ASEAN パートナー大学との協定を改めて整備し、留学生受入れ身分を新たに設けるなど、学内での準備も合わせて進めている。

■問題点及び制度上の改正希望

・学生への支援経費について

使途が限定的であるため、もう少し自由度があると良い。様々な学生に参加の機会が与えられやすくなると考える。

■学生交流数

交流方向	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度(※)
受入	—	4	30
派遣	—	7	40

(※) 予定含む